

次世代のために架橋を



片側自治公民館長
藤川眞澄さん（69）

Q 獅子島架橋への思いは？
A 夜間や悪天候のときに救急搬送が難しいのは当たり前のこと、葬儀のあと火葬場へ行くのも船を利用しなくてははいけません。生まれてから死ぬまで、細部にわたって不便をきたします。高齢化を解消するには、橋を架けて若者の交流する機会を増やす必要があります。「あなたと結婚したいが、獅子島には住めない」という人も多いようです。昔は島内だけで生活できましたが、今は外とかかわった生活でなければ生きていけません。我々が生きている間に橋が架かるのは難しいかもしれませんが、次世代のために架橋を実現してほしいです。



アジサイを挿し木しよう

梅雨本番を迎え、町内のあちらこちらでアジサイが咲き誇り、雨にうたれています。花は梅雨が明け、7月下旬まで楽しむことができます。アジサイは挿し木により簡単に増やすことができます、挿し木は、梅雨の時期が最適とされていますので、挿し木の方法を紹介します。

アジサイの挿し木

○挿し穂を準備

・挿し穂は花の終わった枝や花の付いていない枝どちらでも使えます。

・枝の中間と先端どちらでも使えます。

○枝を2節に切る

・写真のとおり2節ごとに切り、下の葉は落として、残っている葉は半分に切ります。

○土に挿す

・挿し穂の準備できたら、市販の挿し木の土や水はけのよい土に挿します。

※挿し木は、花壇などに挿すよりも、発泡スチロールの入れ物などに挿した方が後の管理がしやすいようです。

○その後の管理

・直射日光はできるだけ避け、木陰に

枝の中間部分 枝の先端部分



置きます。

・1カ月ほどで根が出てきますが、新芽が出て、ある程度大きくなるまで水を切らさないようにします。

今後の管理

現在咲いているアジサイは、花が終わったら、花から2節ほど下の部分で切り戻しを行います。株のためにも早目に切り取った方がよいでしょう。

アジサイを増やそう

アジサイは、挿し木で簡単に増やせますので、町民の皆さんも自宅の周りなどに植栽して増やしてくださいようお願いします。

【問い合わせ先】

役場事業推進課景観係

TEL 0996・86・1111

内線 1266

■編集後記▽昨年6月、広報誌に川内のほたるの写真を掲載しました。今年、「見に行きたよ。感動した」との声をたくさん聞きました。ホテルの育つ環境を守り続け、もっと多くの人に感動を与えてほしいです。（濱口）